

総合特別区域の進捗に係る評価  
[観光等分野]

令和3年度

千年の草原の継承と創造的活用総合特区

[指定：平成25年9月、認定：平成26年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (4+3.8)/2=3.9

3.9

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	①草原管理面積 ②野焼き再開牧野数	99%	5
2	牛馬の放牧頭数	-	-
3	①観光入り込み総数 ②阿蘇地域の宿泊客数	-	-
4	あか牛肉料理認定店数	67%	3
5	草原体験利用者数	-	-

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 1 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 4$

4.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.8

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 (3+3+4)/3=3.3

3.3

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.8

- ・計画の狙いである、「草原を活用した観光の促進と、その利益を草原再生に還元する仕組みづくり」についてはなかなか道筋が見えてこない状況である。引き続き、あか牛や草原を活用して付加価値の高い観光コンテンツを造成することで、草原再生のための利益を生み出すための取り組みが一層求められる。また、放牧や野焼きをはじめとした草原維持管理活動については、担い手不足にともなう課題が顕在化しているように思われる。観光の促進に加えて、より広く関係人口を構築するような取り組みも同時に進めていく必要。
- ・観光インフラ整備やコンテンツ開発には地域外の理解者・協力者を得ていくことが肝要であり、世界的遺産である阿蘇草原を次世代に伝えて頂きたい。
- ・災害の影響、コロナ禍という環境下の中で、多岐にわたって活動されていることは高く評価する。また、活動の過程で新たな着眼点や課題抽出をされている点についても評価する。
- ・観光面では特区制度の積極的な活用も認められず、またコロナ禍の影響が長引いていることから、観光を草原再生に還元しようとする仕組みについては引き続き検討を進めてほしい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.8

### 総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算  $(3.9+3.3+3.8 \times 2) / 4 = 3.7$

3.7

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。